

令和5年6月5日

桜川市議会議長 萩原剛志 様

桜川市議会議員 川股 隆 ㊟

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 西山地区の太陽光施設について	<p>(1) 市条例の手続きによっているが、素掘りのため池であり、誰もが危険であると認識している。次のような現状にあると理解してよいか。(別紙)</p> <p>(2) 事業者は防災上の不備を指摘され、再計算した届出書類を出し直している。何故、この時点で、安全な調整池による一時貯留排水方式に変更するよう指導しないのか。</p> <p>(3) 災害の発生が確実に予測され、事業者も重大な不備を認めている。条例に基づく指導(第14条、第15条)や「協議終了通告書」の取り消しをしないのか。災害発生の場合の桜川市の責任をどのように考えているのか。</p>	市長、副市長、部長
2. 公共交通について	<p>(1) 「地域交通計画」は、課題の整理や分析など大変よくできているが、2点足りないところがある。公共交通、つまり、市民の足の便は基本的な人権と考えているが、市長の認識はどうか。また、「計画」は高齢者の文化や余暇活動に触れていないが、憲法25条の幸福追求権と公共交通についても、市長はどのように認識しているか。</p> <p>(2) 第2は、デマンドタクシーの見直しは指摘されているが、廃止とは言っていない。デマンドの重要な点は、①登録制、②適正な受益者負担と思う。何故、この重要な市民に定着したルールを捨て去るのか。</p> <p>(3) タクシーへの切り替えは賛成である。①登録制(一部負担) ②適正な受益者負担 ③隣接市まで利用可能とする ④悪用、乱用の防止策 このような観点からの見直しをすべきではないか。</p>	市長、副市長、部長

<p>3. 防災対策について</p>	<p>(4) 「計画」では、1億円が行政負担の上限としているが、歳出予算の1%程度が、他の事例から見て、市町村の「常識」と考える。低すぎると思うが、市長や副市長はどう考えるか。</p> <p>(1) 桜川上流・岩瀬地区の、県の浸水予想図は、7年度までかかるという。余りに遅すぎないか。副市長に問う。</p> <p>(2) コロナ対策交付金で防災行政無線の戸別受信機を150台購入したとのことだが、難聴の高齢者にも貸与すべきと思うがいかがか。</p> <p>(3) 「地域防災計画」では、「男女双方の視点等に配慮した避難所の運営」を定めているが、防災備品、訓練、研修など、どのような実績が上がっているか。</p> <p>(4) 地区の防災計画では、「避難所運営委員会は、男女双方が参画し、男女が平等に意見を出し合える体制をつくる」としているが、事前の準備体制づくりではどこまで、具体的に実現しているか。</p> <p>(5) 東海第二原発の避難計画で本市是那珂市からの避難者受け入れとなっているが、市民にはどのように周知しているか。</p> <p>(6) 避難者一人当たりスペースが、従来の2㎡から3㎡に変更されたが、新基準による避難所計画は作成されたか。</p>	<p>市長、副市長 部長</p>
<p>4. 水道の配水管更新計画について</p>	<p>(1) 水道ビジョンや衛星による漏水調査で配水管の更新計画ができると期待したが、骨折場所は不明、バンドエイドで傷を隠した程度のような。外部の専門家に診断をお願いするとか、老朽配水管を2,3か所試掘、更新するなど、新しい知見を入れこまないで暗闇でもがいているだけだ。対策の具体的提案をお聞きしたい。</p> <p>(2) 5年、10年と掛け声だけで何もしない。市長が決断できる材料が下から上がって来ないからか、材料があっても悩み続けて決断しないのか、市長にお聞きしたい。</p>	<p>市長、副市長 部長</p>

(別紙) 西山地区の太陽光発電施設等の経過

1. 概要

場所：本木西山 1244 番地

面積：9942 m² 1200KW

地目：山林（東向き傾斜 10%）

2. 市との協議経過

(1) R4.10 事前協議書受理（素掘り貯留池 305 m³/雨水流出量 458 m³・
最大降雨量 53.9 ミリ/時）

(2) R5.2.20 届出書受理（素掘り貯留地 493 m³/雨水流出量 457 m³
・数量 157、単位 m² 最大降雨量上記に同じ）

(3) R5.2.21 協議終了通知書

(4) R5.4.11 生活環境課への川股質問書 ①面積 157 m²だが、延長は？
②一時貯留排水方式に変更指導すべきではないか。

(5) R5.4 下旬生活環境課回答 延長は 74m 単位は m²ではなく m であり、素掘り貯留池の処理量 233 m³と事業者から返事

(6) R5.5 下旬 事業者から再計算書提出 深さ 1→1.7m 天井幅 4.1→5.4m
処理量 468 m³で再提出

(7) R5.6.5 の現況：当初の届出書の通り、素掘り貯留地完成、芝養生シート？貼り付け済み

3. 当該地の降雨量（国土交通省真壁小学校観測記録）100 ミリ以上

(1) R 元年～4 年 3 回（最大：R 元年 台風 19 号 302 ミリ）

(2) R20 年～30 年 12 回（最大：R26 年 台風 18 号 201 ミリ）